

III 学 校 教 育

1 学 校 教 育

基本方針

地域への愛着と誇りを育む教育

豊かな人間性や社会性を身につけ、自ら学び、自ら考え、実践する「生きる力」を育むため、地域の自然・歴史・産業などに根ざした特色ある教育を進めます。また、基礎・基本の学力の確実な定着を図るとともに、一人ひとりの個性や人権を尊重した教育の充実をめざします。

(1) 学校教育

- ① 学校教育の充実
- ② きめ細かな学びの支援
- ③ 安心安全な給食と食育の推進
- ④ 学校施設の長寿命化と適正配置
- ⑤ 学校・家庭・地域の連携強化

(2) 教育連携

- ① 高等学校との連携
- ② 大学との連携

(3) 心の教育

- ① 不登校対策の推進
- ② いじめ防止対策の推進
- ③ 虐待防止対策の推進

(4) 青少年健全育成・家庭教育

- ① 子どもの居場所と安心安全の確保
- ② 地域・関係機関との連携による家庭教育の充実

2 伊那市立小学校・中学校

(1) 小 学 校

学 校 名	所 在 地	校長氏名	電 話
伊 那 小 学 校	伊那市山寺3221番地	登 内 淳	電話 72-5205 FAX 72-5206
伊 那 東 小 学 校	伊那市境1248番地 1	田 中 智 之	電話 72-2007 FAX 72-2022
伊 那 北 小 学 校	伊那市野底8380番地3	久 保 田 雅 樹	電話 72-2264 FAX 72-6029
伊 那 西 小 学 校	伊那市ますみが丘6949番地2	有 賀 大	電話 72-2632 FAX 72-3145
富 県 小 学 校	伊那市富県7312番地	高 橋 玲 子	電話 72-3094 FAX 72-3156
新 山 小 学 校	伊那市富県535番地2	飯 野 雄 一 郎	電話 72-2884 FAX 72-2874
美 簗 小 学 校	伊那市美簗5350番地1	大 日 野 剛	電話 72-2588 FAX 72-2580
手 良 小 学 校	伊那市手良野口222番地	佐々木 英明	電話 72-2756 FAX 72-3516
東 春 近 小 学 校	伊那市東春近2312番地	山 崎 重 幸	電話 72-3223 FAX 72-3083
西 箕 輪 小 学 校	伊那市西箕輪3900番地	中 山 貴 史	電話 72-2639 FAX 72-5729
西 春 近 北 小 学 校	伊那市西春近191番地	塚 田 琢 磨	電話 72-3221 FAX 72-3327
西 春 近 南 小 学 校	伊那市西春近7370番地	松 崎 和 美	電話 72-3234 FAX 72-3376
高 遠 小 学 校	伊那市高遠町西高遠465番地	下 島 弘 子	電話 94-2070 FAX 94-3990
高 遠 北 小 学 校	伊那市高遠町長藤4410番地	塚 越 智 英	電話 96-2220 FAX 96-2629
長 谷 小 学 校	伊那市長谷溝口915番地	福 永 佐 枝 子	電話 98-2220 FAX 98-3032

(2) 中 学 校

学 校 名	所 在 地	校長氏名	電 話
伊 那 中 学 校	伊那市荒井4460番地	三ツ井 邦仁	電話 72-6168 FAX 72-6169
東 部 中 学 校	伊那市日影5749番地	有 賀 泰 司	電話 72-6128 FAX 72-6129
西 箕 輪 中 学 校	伊那市西箕輪6569番地1	伊 藤 幹 高	電話 72-6421 FAX 72-6734
春 富 中 学 校	伊那市東春近2408番地	沼 野 俊 彦	電話 72-5245 FAX 72-5246
高 遠 中 学 校	伊那市高遠町東高遠232番地	田 中 幸 一	電話 94-2142 FAX 94-4765
長 谷 中 学 校	伊那市長谷溝口1080番地	清 水 慶 一	電話 98-2050 FAX 98-3031

3 伊那市立小学校・中学校通学区域

住所を有する区域		就学すべき小学校	就学すべき中学校
伊 那	御園、山寺、坂下、荒井（内の萱を除く）、西町(大坊を除く)、下小沢7組	伊那小学校	伊那中学校
	内の萱、大坊、小沢(下小沢7組を除く)、中の原、平沢、横山、ますみヶ丘	伊那西小学校 【小規模特認校】	
	中央区、日影、上の原、境、狐島、上新田、下新田	伊那東小学校	東部中学校
	上牧、若宮、野底、福島、美原、前原、仙美	伊那北小学校	
	上新山、北新	新山小学校 【小規模特認校】	
	美篤地区	美篤小学校	
	手良地区	手良小学校	
	西箕輪地区	西箕輪小学校	西箕輪中学校
	富県地区（上新山・北新を除く）	富県小学校	春富中学校
	東春近地区	東春近小学校	
	小出一・二・三、小出島、沢渡（柳沢を除く）	西春近北小学校	
	柳沢、表木、諏訪形、赤木、下牧	西春近南小学校	
高 遠	高遠地区、河南地区、長藤地区の一部（的場）	高遠小学校	高遠中学校
	藤沢地区、三義地区、長藤地区（的場を除く）	高遠北小学校 【小規模特認校】	
長 谷	長谷全域	長谷小学校	長谷中学校

ただし、教育委員会が特に認めた場合を除く。

4 令和6年度 児童・生徒数、学級数一覧

令和6年5月1日現在

学 校 名	1 年 生		2 年 生		3 年 生		4 年 生		5 年 生		6 年 生		合 計							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	学級		
伊 那 小 学 校	4	3	3	0	3	6	1	7	8	1	9	7	1	8	4	7	11	3		
	52	43	95	3	46	44	90	3	51	44	95	3	48	41	89	3	38	61	99	3
伊 那 東 小 学 校	56	46	102	3	49	44	93	3	57	45	102	3	55	42	97	3	42	68	110	3
	5	1	6	2	8	6	14	2	9	1	10	2	7	3	10	2	9	1	10	2
伊 那 北 小 学 校	54	41	95	3	46	56	102	3	54	47	101	3	44	49	93	3	38	43	81	3
	59	42	101	3	52	58	110	3	63	48	111	3	48	53	101	3	45	46	91	3
伊 那 西 小 学 校	4	0	4	1	2	2	2	6	6	1	7	2	2	4	6	2	4	2	6	2
	22	24	46	2	21	16	37	2	19	25	44	2	17	21	38	2	26	23	49	2
富 泉 小 学 校	26	24	50	2	22	17	39	2	23	27	50	2	23	22	45	2	28	27	55	2
	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	0	2	0	4	0	4	0
新 山 小 学 校	11	0	11	1	7	6	13	1	7	7	14	1	9	1	10	1	7	3	10	1
	12	1	13	1	7	6	13	1	8	7	15	1	11	3	14	1	6	3	9	1
美 簫 小 学 校	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	2	0	1	1	1	0	1	1	0	1
	6	12	18	1	13	7	20	1	6	11	17	1	11	15	26	1	12	6	18	1
手 良 小 学 校	6	12	18	1	14	7	21	1	8	11	19	1	12	15	27	1	12	7	19	1
	2	4	6	1	6	2	8	1	1	4	5	1	4	4	8	1	2	3	5	1
東 春 近 小 学 校	3	2	5	0	2	0	2	1	4	1	5	1	2	1	3	0	2	0	2	0
	23	29	52	2	14	33	47	2	22	21	43	2	24	24	48	2	21	24	45	2
西 箕 輪 小 学 校	26	31	57	2	16	33	49	2	26	22	48	2	26	25	51	2	23	24	47	2
	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
西 春 近 北 小 学 校	7	5	12	1	3	2	5	1	8	6	14	1	3	10	13	1	7	8	15	1
	8	5	13	1	4	2	6	1	8	6	14	1	4	10	14	1	8	8	16	1
西 春 近 南 小 学 校	3	0	3	0	2	0	2	0	0	0	0	0	5	0	5	0	3	2	5	0
	16	23	39	2	22	21	43	2	24	21	45	2	28	22	50	2	20	23	43	2
西 箕 輪 小 学 校	19	23	42	2	22	23	45	2	24	21	45	2	33	22	55	2	23	25	48	2
	1	0	1	0	2	0	2	0	7	1	8	1	4	5	9	1	4	1	5	1
高 遠 小 学 校	20	26	46	2	22	21	43	2	28	37	65	2	25	32	57	2	23	24	47	2
	21	26	47	2	24	21	45	2	35	38	73	2	29	37	66	2	27	25	52	2
高 遠 北 小 学 校	2	0	2	0	1	0	1	0	2	0	2	0	3	1	4	0	2	1	3	0
	7	5	12	1	15	10	25	1	16	11	27	1	13	13	26	1	12	13	25	1
長 谷 小 学 校	9	5	14	1	16	10	26	1	18	11	29	1	16	14	30	1	14	14	28	1
	8	6	14	1	15	13	28	1	5	7	12	1	7	15	22	1	9	10	19	1
伊 那 中 学 校	9	6	15	1	17	13	30	1	5	8	13	1	7	15	22	1	12	12	24	1
	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	3	0	3	1	4	0
東 部 中 学 校	15	8	23	1	17	10	27	1	13	9	22	1	12	20	32	1	15	16	31	1
	15	8	23	1	18	10	28	1	13	9	22	1	14	21	35	1	18	17	35	1
西 箕 輪 中 学 校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	4	5	1	5	3	8	1	2	8	10	1	4	6	10	1	5	6	11	1
春 富 中 学 校	1	4	5	1	5	3	8	1	3	8	11	1	4	6	10	1	5	6	11	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高 遠 中 学 校	5	3	8	1	8	4	12	1	5	4	9	1	6	2	8	1	6	4	10	1
	5	3	8	1	8	4	12	1	6	4	10	1	6	2	8	1	6	4	10	1
長 谷 中 学 校	25	8	33	20	5	25	37	7	44	38	82	14	52	38	90	18	56	38	94	18
	249	233	482	23	260	248	508	23	261	262	523	23	254	276	530	23	251	247	498	23
中 学 校 計	274	241	515	23	280	253	533	23	298	269	567	23	292	290	582	23	289	263	552	23
	6	3	9	5	1	6	7	1	8	7	15	1	9	7	16	1	8	7	15	1
伊 那 中 学 校	59	61	120	4	35	59	94	3	55	57	112	4	4	4	8	1	4	4	8	1
	65	64	129	4	40	60	100	3	62	58	120	4	4	4	8	1	4	4	8	1
東 部 中 学 校	9	5	14	3	11	3	14	1	6	5	11	1	4	4	8	1	4	4	8	1
	94	95	189	6	94	119	213	7	107	119	226	7	94	119	226	7	94	119	226	7
西 箕 輪 中 学 校	103	100	203	6	105	122	227	7	113	124	237	7	103	100	203	6	105	122	227	7
	5	2	7	5	3	8	11	1	6	5	11	1	4	4	8	1	4	4	8	1
春 富 中 学 校	28	25	53	2	26	25	51	2	28	26	54	2	2	2	4	0	2	2	4	0
	33	27	60	2	31	28	59	2	30	28	58	2	2	2	4	0	2	2	4	0
高 遠 中 学 校	4	2	6	10	3	13	4	17	13	4	17	1	4	4	8	1	4	4	8	1
	41	67	108	4	56	48	104	3	58	60	118	4	4	4	8	1	4	4	8	1
長 谷 中 学 校	45	69	114	4	66	51	117	3	71	64	135	4	4	4	8	1	4	4	8	1
	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	3	0	2	1	3	0	2	1	3	0
中 学 校 計	25	13	38	2	22	17	39	2	7	26	33	1	7	26	33	1	7	26	33	1
	26	13	39	2	22	17	39	2	9	27	36	1	9	27	36	1	9	27	36	1
小 学 校 計	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	3	10	1	5	4	9	1	4	6	10	1	4	6	10	1	4	6	10	1
小、中学校計	8	3	11	1	6	4	10	1	4	6	10	1	4	6	10	1	4	6	10	1
	26	12	38	2	32	10	42	2	30	13	43	2	28	10	38	2	26	10	38	2
伊 那 中 学 校	254	264	518	19	238	272	510	18	259	294	553	19	254	276	530	23	251	247	498	23
	280	276	556	19	270	282	552	18	289	307	596	19								

5 令和6年度 教職員数一覧 (学校基本調査参考)

令和6年5月1日現在

学校医等	県 費 教 職 員 (兼務者除く)																								(C)+(D)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	本務者(休職者含む)												本務者以外(休職者除く)												市 費 職 員(兼務者・産育休者除く)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	教 育 職 員						職 員(B)						教 育 職 員(C)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	計						親子のこども相談員						教 諭						講 師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	校 長	教 頭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭	教 諭

注 伊那北小A.L.Tは富県小、高遠小、高遠北小と兼務。伊那中A.L.Tは伊那西小・西箕輪中兼務。東部中A.L.Tは新山小兼務、それ以外の学校には派遣ALT (4人)

注 富県小司書は伊那西小兼務、高遠小司書は高遠北小兼務、西春近南小司書は新山小兼務、長谷中司書は長谷小兼務

注 高遠北小特設校コーディネーターは新山小を兼務

注 子どもと親の相談員、高遠北小は手良小と兼務、長谷中は長谷小兼務

注 伊那中市費特別加配講師は伊那中部活動指導員と兼務

6 特色ある学校づくり ～各校の取り組み～

特色ある学校づくり ～ 各校の取り組み ～

 伊 那 小 学 校 所在地 伊那市山寺3221番地 Tel.番号 0265-72-5205 https://www.ina-ngn.ed.jp/~inasho/ 児童生徒数 602名 (R6.5.1 現在)	◆ 学校研究テーマ 内から育つ ー 対象と関わりながら、学びを深めていく子ども ー
◆ 学校教育目標 (児童の目標) こつこつ勉強する 友だちをつくる とことんやり抜く	◆ 特色ある活動 ○総合学習・総合活動 各学級が、動物飼育・栽培活動・遊び・生活・年中行事などを題材として学級の中核となる活動をつくっている。
◆ 学校経営の重点 □ 教育理念 学校は子どもたちにとってここゆく生活の場、詩境でなければならない □ 教育目標 眞事 眞言 誠 □ 子ども観 子どもは自ら求め、自ら決め出し、自ら 動き出す力をもっている存在である	子どもの願いや求めに沿って、その学級の活動から派生する事柄を学習として位置づけ探究的に展開している。教科や道徳等で関連できる内容は、必要感のある学びになるので、そのなかで学習するようにしている。そこで、学級毎に学級担任が年間学習計画を作成し、教科学習とのつながりや活動の発展等も踏まえて、職員で検討し修正しながら進めている。
◆ 教職員研修の重点 ・教師は子どもの事実から出発し、子どもの事実に基づいて展開し、子どもの事実で語ることを大切にしている。 ・教職員の同僚性を大事にしている。	○主な行事 ・1年生を迎える会 ・運動会 ・音楽会 ・児童会交流会 ・学習発表会 ・修学旅行(6年) ・臨海学習(5年) ・長野社会見学(4年) ・スキー教室(3～6年) ・スケート教室(2年) ・6年生を送る会 ○課外クラブ ・合唱団 ・陸上クラブ ・相撲部 ○その他 ・公開学習指導研究会の実施(毎年2月第一土曜日)
 伊 那 東 小 学 校 所在地 伊那市境1248番地1 Tel.番号 0265-72-2007 http://www.ina-ngn.ed.jp/~ / 児童生徒数 616名 (R6.5.1 現在)	◆ 学校研究テーマ 学ぶことを楽しみ、自ら考えを深め表現しようとする子ども ～自分の考えを持ち、対話的・協動的な学習を通して～
◆ 学校教育目標 かしこく やさしく たくましく ～互いのよさを認め、切磋琢磨しあいながら共に生きる道を切り拓いていく東小の子～	◆ 特色ある活動 ○開校展(11月23日) ～令和6年度126回目～ 地域の方々や PTA・同窓会の皆様と共に開校を祝う本校の一大行事。今年度は『未来へ つながる伝統 広がる笑顔』をテーマに、「子どもたちをど真ん中に据えた」内容を計画。記念式典やハーモニーコンサート、販売活動などを実施
◆ 学校経営の重点 ○笑顔が集い のび合う学校 ～ 学びにひたり 学びを支え合う 読書にひたり あいさつを交わす ～ 豊かに実る実・・・自ら学ぶ子ども 美しく咲く花・・・思いやりのある子ども たくましく育つ樹・・・健やかな体の子ども	○そり・スケート・スキー(1・2月) ○おべんとうの日(10・11月)の計2回 ○地域の方々の応援・保護者との連携(信州型CS) ・「読み聞かせ」「学習支援」「農業支援」「食育支援」等、ボランティアの活動(通年) ・児童会による「あいさつ運動」 ○いな祭りへの参加(8月) ○合唱団・陸上部の活動
◆教職員研修の重点 【めざす子どもの姿の具体像】 日常の中に問いを見出し(問題発見力・主体性) 答えの無い問いに向かって(粘り強さ・あきらめない・自分の力で) 持てる力を活用しながら問題解決に向かう集団に (対話・協働：深い学びに向かう力の育成)	 (開校展)

伊 那 北 小 学 校 所在地 伊那市野底8380-3 Tel番号 0265-72-2264 https://www.ina-ngn.ed.jp/~inakita/ 児童生徒数 287名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ はりきって学習活動に取り組む伊那北の子どもたちを目指して ～はりきって活動したくなる【めあて】を共有し 「困った」を素直に表し 「できた」自分を認められる【ふり返し】～
◆学校教育目標 かしく なかよく たくましく 子どもたちの未来のための学びがある学校づくり	◆特色ある活動 「伊那北の自然・地域と共にある学校」 里山づくりの会の皆様の協力をいただきながら、里山に関わる自然体験学習をしています。
◆学校経営の重点 <めざす学校像> - 伊那北の自然・地域と共にある学校（内） - すべての子に学びの場がある学校（外）内にも外にも開かれた学校 <めざす子ども像> - 自己肯定感をもてる児童 - 自分の思いを自分の言葉で語る児童 - 思いやることのできる児童 <めざす教師像> - 児童の声に耳を傾ける教師 - 児童の活動をファシリテートする教師	●1、2年生 四季を通じた里山での遊び ●3年生 シイタケのコマ打ち ●4年生 炭焼き体験 ●5年生 お米作り ●6年生 里山の整備作業 体験を通して、地域の先人の方々が生活の中で林を利用してきたことや、その里山を自分たちで手入れをして大切にしていこうとなどを学びます。里山と共に育った子どもたちは、自分たちもこの大切な里山を未来へ引き継いでいきたいと願っています。
◆教職員研修の重点 【凡事徹底】 「気づく心」の育成と一歩踏み込んで「人を喜ばせる心」の育成 【率先垂範】 児童は学校において、教師の後ろ姿を見つめている 【和顔愛語】 愛語よく廻る力あることを学ぶべきなり	◆ 学校研究テーマ 自分の思いや願いをもち、自ら取り組む子ども
伊 那 西 小 学 校 所在地 伊那市ますみヶ丘 6949-2 Tel番号 0265-72-2632 http://www.ina-ngn.ed.jp/~nanishi/ 児童生徒数 76名 (R6.5.1 現在)	
◆ 学校教育目標 「かしこさ」「やさしさ」「たくましさ」 ～知・徳・体の調和のとれた人間形成～	◆ 特色ある活動
◆ 学校経営の重点 「いのちにふれて根っこを肥やすふるさと教育の創造」 伊那西の豊かな自然と文化、人才を最大限に活用した『ふるさと教育』を柱にして、「豊かな知性と確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心と体」のバランスのよい子どもを育てる。 子どもが安心して喜んで学校に来られる最大の教育環境をつくる。 「林間ほくらの教室だ」～体験を通して本物から学ぶ～ 伊那市小規模特認校として、林間（学校林）に親しみ、主体的・探究的に学ぶ子の育成をめざす。	○恵まれた自然環境を活用した学年ごと特色ある「太陽の時間」や教科学習の展開 - 学校林を活用した自然観察や学年研究（森の体験活動を通して） - 私たちの林間づくり（林間整備・皆伐に関わる学び） - 林間マラソン（朝学校林内のコースを走るマラソン） - 林間と親しむ日（林間で全校飯盒炊さん、林間を生かした活動） - 林間ものづくり教室（学校林において） - バタフライガーデン（理科学習の発展として蝶の飼育・観察） ○縦割り班活動（集会活動・清掃・集団登下校） ○地域につながり、地域と連携した学び - 食農体験学習 1・2年：酪農家との交流、3・4年：りんご栽培農家との交流
◆ 教職員研修の重点 ◎職員研修の日常化く互いに磨き合い、高め合う向学の気風> ①子ども・地域から学ぶ - 学級経営案の見直しと改善策の話し合い・特別支援教育研修 - 豊かな自然と文化を材にして、子どもの思いにそった「太陽の時間」（生活科・総合的な学習の時間）の取組のあり方の検討、情報交換、見返し、子どもの成長の見取り・地域巡検 ②外部指導者を活用して学ぶ - 人権教育研修・ICT活用力向上研修・森づくり研修 ③基礎学力の定着と向上への取組 - 授業公開、授業研修・MIMを活用したつますきへの支援	○少人数のよさを生かした教育

富 県 小 学 校 所在地 伊那市富県7312番地 Tel番号 0265-72-3094 http://www.ina-ngn.ed.jp/~tomigata/ 児童生徒数 118名 (R6.5.1現在)	◆学校研究テーマ 「子どもたちが 自分の思いや考えを伝え合いながら お互いに学び合う姿をめざして」
◆学校教育目標 自立共同の力を高める子ども ・よく考え、やりぬく子ども ・仲良くみんなと支え合う子ども ・いつも明るくじょうぶな子ども	◆特色ある活動 ○異学年での活動 ①スマイルタイム（縦割り班でのレクリエーション） ②なかよし学級での交流（レクリエーション、焼き芋） ③児童会イベントデー（6年生が中心となり企画運営） ④掃除の交流 ○地域との交流学習 ①ふるさと学習 ・地域の方と栽培活動 ・地域の方としめ縄づくり ②保育園、高校との交流 ③「富小タイム」ボランティアによる学習支援 ④PTA主催「キャリア学習会」 ⑤ボランティア「おはなしたまてばこ」の皆さんによる読み聞かせ ○食育の推進 栽培活動、調理活動 ・命をいただく ・お弁当の日
◆学校経営の重点 ○伝え合い・・・心を寄せて聞いたり話したりできる 考えを聞き、自分の考えを見返し、考えの再構築・表現力育成 ○認め合い・・・個性尊重・寛容の心を育てる 人権教育の充実とともに活動し学ぶ楽しさ ○心・体づくり・・・意欲をもち継続できる 体力の向上、強い意志 仲間意識の高まり 健康に関わる意識	◆学校研究テーマ 「人との関わりを広げたり深めたりする力を 育む指導・支援のあり方」
◆教職員研修の重点 ①模擬授業研修→授業公開→日々の授業の資質向上のサイクル ②人権教育を中心とする学級経営 ③校内研修の工夫・充実、校外研修への積極的参加	◆学校研究テーマ 「人との関わりを広げたり深めたりする力を 育む指導・支援のあり方」 ◆特色ある活動 学習 ・少人数を生かした一人ひとりわかる授業と個別指導 ・新山川の探検・ハッチョウトンボ観察会・筍狩り・キノコ狩りなどの地域の自然に親しむ体験活動 ・野菜や古代米（白毛餅米）作りの活動、蚕の飼育、納豆作りなど地域の特色を生かした活動（新山っ子タイム） 交流 ・縦割り班による児童会活動、毎日の縦割り班清掃活動 ・富県小学校、手良小学校との学校間交流 ・カレーパーティー・焼き芋キックベース大会、畑での野菜栽培などの新山保育園との異年齢交流 地域 ・地域の方に支えられて行うことができる様々な行事 竹の子採り、きのこ狩り・三昇山登山で地域の方を講師に招き、新山の良さを感じる行事 ・地域の方とつくりあげる新山大運動会、新山フェスティバル ・全戸PTA、同窓会などの協力支援体制 ・CSの皆さんによる学期末の草取り、草刈りや、窓ふき作業 ・同窓会の皆さんによる敷地内樹木の剪定作業、郷土館の清掃 ～ 竹の子採り ～
新 山 小 学 校 所在地 伊那市富県535-2 Tel番号 0265-72-2884 http://www.ina-ngn.ed.jp/~newyama/ 児童生徒数 47名 (R6.5.1現在)	◆学校研究テーマ 「人との関わりを広げたり深めたりする力を 育む指導・支援のあり方」 ◆特色ある活動 学習 ・少人数を生かした一人ひとりわかる授業と個別指導 ・新山川の探検・ハッチョウトンボ観察会・筍狩り・キノコ狩りなどの地域の自然に親しむ体験活動 ・野菜や古代米（白毛餅米）作りの活動、蚕の飼育、納豆作りなど地域の特色を生かした活動（新山っ子タイム） 交流 ・縦割り班による児童会活動、毎日の縦割り班清掃活動 ・富県小学校、手良小学校との学校間交流 ・カレーパーティー・焼き芋キックベース大会、畑での野菜栽培などの新山保育園との異年齢交流 地域 ・地域の方に支えられて行うことができる様々な行事 竹の子採り、きのこ狩り・三昇山登山で地域の方を講師に招き、新山の良さを感じる行事 ・地域の方とつくりあげる新山大運動会、新山フェスティバル ・全戸PTA、同窓会などの協力支援体制 ・CSの皆さんによる学期末の草取り、草刈りや、窓ふき作業 ・同窓会の皆さんによる敷地内樹木の剪定作業、郷土館の清掃 ～ 竹の子採り ～
◆学校教育目標 たくましく 心豊かな 新山っ子	◆学校研究テーマ 「人との関わりを広げたり深めたりする力を 育む指導・支援のあり方」 ◆特色ある活動 学習 ・少人数を生かした一人ひとりわかる授業と個別指導 ・新山川の探検・ハッチョウトンボ観察会・筍狩り・キノコ狩りなどの地域の自然に親しむ体験活動 ・野菜や古代米（白毛餅米）作りの活動、蚕の飼育、納豆作りなど地域の特色を生かした活動（新山っ子タイム） 交流 ・縦割り班による児童会活動、毎日の縦割り班清掃活動 ・富県小学校、手良小学校との学校間交流 ・カレーパーティー・焼き芋キックベース大会、畑での野菜栽培などの新山保育園との異年齢交流 地域 ・地域の方に支えられて行うことができる様々な行事 竹の子採り、きのこ狩り・三昇山登山で地域の方を講師に招き、新山の良さを感じる行事 ・地域の方とつくりあげる新山大運動会、新山フェスティバル ・全戸PTA、同窓会などの協力支援体制 ・CSの皆さんによる学期末の草取り、草刈りや、窓ふき作業 ・同窓会の皆さんによる敷地内樹木の剪定作業、郷土館の清掃 ～ 竹の子採り ～
◆学校経営の重点 「考える力の活性化」 考えよう ①自ら考え、計画し、実践する力の育成 ②自分の考えを伝え合い、広げ深め合う学習活動の重視 やってみよう ③粘り強く最後までやり抜く力の育成 ④自戒自律の心と「思いやり」の心の育成 つながろう ①思考力・判断力・表現力の育成 ②体験を通じた学び ③暮らしの中の食 ④交流や集団行動において進んで活動 ⑤ICT機器の積極的な活用 ①心を届ける挨拶、返事、歌声の奨励 ②伝え合うことによるつながり ③支え合える仲間関係の育成 ④新山の良さ、自分たちの学びの発信	◆学校研究テーマ 「人との関わりを広げたり深めたりする力を 育む指導・支援のあり方」 ◆特色ある活動 学習 ・少人数を生かした一人ひとりわかる授業と個別指導 ・新山川の探検・ハッチョウトンボ観察会・筍狩り・キノコ狩りなどの地域の自然に親しむ体験活動 ・野菜や古代米（白毛餅米）作りの活動、蚕の飼育、納豆作りなど地域の特色を生かした活動（新山っ子タイム） 交流 ・縦割り班による児童会活動、毎日の縦割り班清掃活動 ・富県小学校、手良小学校との学校間交流 ・カレーパーティー・焼き芋キックベース大会、畑での野菜栽培などの新山保育園との異年齢交流 地域 ・地域の方に支えられて行うことができる様々な行事 竹の子採り、きのこ狩り・三昇山登山で地域の方を講師に招き、新山の良さを感じる行事 ・地域の方とつくりあげる新山大運動会、新山フェスティバル ・全戸PTA、同窓会などの協力支援体制 ・CSの皆さんによる学期末の草取り、草刈りや、窓ふき作業 ・同窓会の皆さんによる敷地内樹木の剪定作業、郷土館の清掃 ～ 竹の子採り ～
◆教職員研修の重点 ①児童が人との関わりを広げたり深めたりする授業づくりのために、一人一台端末をどう活用すればよいか ②諸先輩や地域の方と関わることで、地域を知り、教師である前に人としてのあり様を考え、教師としての自己を問い続ける ③非違行為を防止するための読み合わせやグループ協議	◆学校研究テーマ 「人との関わりを広げたり深めたりする力を 育む指導・支援のあり方」 ◆特色ある活動 学習 ・少人数を生かした一人ひとりわかる授業と個別指導 ・新山川の探検・ハッチョウトンボ観察会・筍狩り・キノコ狩りなどの地域の自然に親しむ体験活動 ・野菜や古代米（白毛餅米）作りの活動、蚕の飼育、納豆作りなど地域の特色を生かした活動（新山っ子タイム） 交流 ・縦割り班による児童会活動、毎日の縦割り班清掃活動 ・富県小学校、手良小学校との学校間交流 ・カレーパーティー・焼き芋キックベース大会、畑での野菜栽培などの新山保育園との異年齢交流 地域 ・地域の方に支えられて行うことができる様々な行事 竹の子採り、きのこ狩り・三昇山登山で地域の方を講師に招き、新山の良さを感じる行事 ・地域の方とつくりあげる新山大運動会、新山フェスティバル ・全戸PTA、同窓会などの協力支援体制 ・CSの皆さんによる学期末の草取り、草刈りや、窓ふき作業 ・同窓会の皆さんによる敷地内樹木の剪定作業、郷土館の清掃 ～ 竹の子採り ～

美 簫 小 学 校 所在地 伊那市美簫5350-1 Tel.番号 0265-72-2588 http://www.ina-ngn.ed.jp/~misuzu/ 児童生徒数 301 名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ 『対象や他者と豊かにかかわり、自ら学び、 表現する子どもの育成』
◆学校教育目標 「本気・根気・和気・元気」 本気・・・自ら考え、友と深め合い、豊かな基礎力をもつ子ども 根気・・・目標をもって、あきらめずに最後までやりぬく子ども 和気・・・だれにも思いやりの気持ちをもって接し、仲良く助け合う子ども 元気・・・心と体を鍛え、安全にきびきびと活動する子ども	◆特色ある活動 ○ 金管バンド活動 ○ 地域の願いや伝統を受け継ぎ、高学年を中心に取り組む桜並木活動 ○ 地域ボランティアによる読み聞かせ活動 ○ 美簫小学校資料館の活用（資料館運営委員会） ※開校記念日の資料館展示物を使用した体験活動 （地域の歴史や食や農がともにあった時代を実体験） ○ 開校記念日記念式典（毎年実施） ○ 市社会福祉協議会と連携した地域交流 ※折り紙教室を開催。コロナ禍以来の交流再開となった。 ○ 全校縦割班（なかよしグループ）活動 なかよし集会 児童会祭り 資料館かるた遊び ○ みどりの少年団活動 （学校林作業 椎茸の菌打ち ツリーハウスの製作） ○ 財産区の方々による森林教室 ○ 地域高齢者によるクラブ活動（お茶 生け花 地域探検）
◆学校経営の重点 ○自ら立ち、社会の一員として生きるための基礎となる、自己肯定感・他者理解・地域への愛情を育てる。 ○自分（の命）も、友達（の命）も大切にする子どもを育てる。 ○「笑顔」と「愛（合い）」があふれる美簫小」を目指す。 ○五感を動かせ、身体全体で対象に働きかけ関わっていく体験活動を大切にする。 ○家庭や地域と願いや思いを共有し、手を取り合い、地域の宝である“みすずっ子”を育てる。	
◆教職員研修の重点 (1)校内研修の工夫・充実と、各種研修・研究会への積極的参加 (2)個人の授業づくりの課題にチームで取り組む研究 (3)一人一門開業によるわかる授業の具現、授業力の向上 (4)子どもの学びにくさをサポートするための支援体制づくり (5)自身の人権感覚を見返し、人権感覚を磨く研修の実施	
手 良 小 学 校 所在地 伊那市手良野口222 Tel.番号 0265-72-2756 http://www.ina-ngn.ed.jp/~terasyo/ 児童生徒数 81 名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ 【研究テーマ】「みんなで学べる」「ひとりで学べる」子どもたちを目指して ◎協動的な学びを軸にした授業づくり=みんなで学ぶ ◎自分の「問い」を大切にした主体的・探究的な学び=ひとりで学ぶ
◆学校教育目標 校訓「思いやり」 やさしい子【情操】かしこい子【創造】 やりぬく子【意志】元気な子【活力】	◆特色ある活動 ○縦割班（仙丈班）の活動・・・青葉給食、運動会の縦割り班種目、手良の自然に親しむ日（野外調理と地域でのスタンプラリー）、児童会まつり、朝の活動等 ○地域のみなさんの支援による伝統的な活動・・・トランペット鼓隊、和太鼓演奏 ○地域をフィールドとした学習や交流・・・農家体験、歴史学習、地域行事への参加、手良保育園との交流 ○地域ボランティアのみなさんによる学習・安全支援・・・授業中の学習支援、クラブ講師、農業体験活動の支援、郷土館の運営並びに歴史学習支援、読み聞かせの会、子どもの安全見守り隊
◆学校経営の重点 (1)みんなと学ぶ・・・少人数を生かした個別最適な学び、協動的な学びの充実。新しい時代に必要となる資質・能力を育てる。 (2)みんなが笑顔・・・自分と他者を大切に、自己有用感を高め、互いを認め合える人間関係づくりを進める。 (3)みんなと一緒に・・・ふるさと「手良」への愛着をもち、自分も手良の一員である自覚と地域の方に支えられている意識を高める。	
◆教職員研修の重点 ○いじめ・不登校など生徒指導に関わる早期発見・早期対応のあり方 ○手良地区の歴史（人権同和の歴史）や自然、各種産業について学ぶ地域研修。 ○学級づくりや個別支援について学ぶQ-U研修。 ○学力向上と授業改善を図る各種調査の分析。	

東 春 近 小 学 校 所在地 長野県伊那市東春近 2312 Tel 番号 0265-72-3223 http://www.ina-ngn.ed.jp/~e-haru/ 児童生徒数 290 名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ 一人ひとりの子どもが 安心して 学ぶことのできる授業づくり・学級づくり ～「伝え合う」ことを大切に～
◆学校教育目標 たくましく 思いやりのある子ども ～失敗してもだいじょうぶやってみよう～	◆特色ある活動 ○地域との連携（ふるさと学習） ・地域の自然、季節を感じる活動（遠足など） ・東春近探検、森の音楽祭参加（公民館主催、協力） ・老松場古墳公園の活用（竹の利用、遊び場作り等） ・米作り、しめ縄作り、野菜の栽培（地域の皆様） ・保育園交流（読み聞かせ、音楽会招待） ○縦割りの活動（集会活動、児童会祭、なかよし清掃） ○二分の一人式 ○標語作り、のろしの会（育成会） ○OPTA 林の活動（コースター作り） ○特設クラブ（希望者による 合唱クラブ、陸上クラブ） 七夕飾りの竹の切り出し 老松場でたき火の会
◆学校経営の重点 令和6年度テーマ『伝え合い』 ①伝え合って深めよう（知）～聴くを大切に～ ②自分からあいさつを広げよう（徳） ③よく遊び、よく働こう（体）	
◆教職員研修の重点 ・授業力向上研修（授業のUD化） ・情報モラル研修・ICT活用研修 ・人権教育研修 非違行為防止研修	
西 箕 輪 小 学 校 所在地 長野県伊那市西箕輪 3900-138 Tel 番号 0265-72-2639 http://www.ina-ngn.ed.jp/~wminored 児童生徒数 356 名 (R6.5.1 現在)	◆ 学校研究テーマ 子どもの対話を大切にした授業づくり ～ “きく” から始まる ～
◆ 学校教育目標 よく考え、すすんでやりぬく子体を鍛え、たくましい子 美しさ、温かさのわかる心豊かな子	◆ 特色ある活動 内外に開かれた学校づくり 1 子どもが活躍 ○児童会祭り「ワクチャレ祭」 ○マラソン大会の実施 ○児童会活動の充実 ○課外クラブ（合唱団、陸上クラブ） 2 学校をひらく ○学習支援タイム（学習支援員の方に支援をいただく学習） ○読書ボランティアの方による読み聞かせ・お話の部屋 ○地域とともに行うクラブ活動 ・外部講師による指導（バドミントン、将棋、茶道 百人一首、マレットゴルフ、書道、太鼓） ○地域と連携した学習 （稲作、野菜栽培、お月見の会、企業見学、ミシン、習字等） ○西箕輪中学校との小中連携 ・小中合同避難訓練 ・中学校文化祭・中学校音楽祭への参加 ・英語出前授業 ○西箕輪保育園及び西箕輪南部保育園との交流 ○伊那養護学校との交流（全体、学年・学級単位）
◆ 学校経営の重点 あたたかい学校・学級づくりと、学び合いのある授業を通して、 思考力・判断力・表現力を高め、自立した児童を育てたい。 ○授業づくり…きく・問う・学び合い ・主体的な学習態度の育成 ・知識・技能の習得 ・思考力・判断力・表現力の育成 ・特別支援教育の充実 ○健康づくり…遊び・運動・高め合い ・自己健康管理能力の育成 ・体力づくりの日常化と運動の習慣化 ・健康な心身を育む食育 ・生命を守る保護・安全指導 ○心づくり…あたたかい学校・学級 ・自己指導能力を培う生徒指導 ・よりよい人間関係の構築 ・心を磨く人権教育・道徳教育 ・インクルーシブ教育の推進	
◆ 教職員研修の重点 ○主体的・対話的な学びの実現のための校内研究、一人一公開 ○職員の資質・能力向上のための研修 （非違行為防止研修、ICT 教育の充実のための研修等） ○小中連携を強化するための小中職員合同研修 （合同スポーツ研修、児童・生徒理解、分科会形式情報交換会等）	

西春近北小学校 所在地 伊那市西春近 191 番地 Tel 番号 72-3221 E-mail nisikita@ina-ngn.ed.jp 児童生徒数 157 名 (R6.5.1 現在)	◆ 学校研究テーマ 張り切って探究する子どもの姿 ～子どもも教師も挑戦したくなる教材研究の深化～
◆ 学校教育目標 ○ 明るい子ども ○ あたたかい子ども ○ かしこい子ども ○ たくましい子ども	◆ 特色ある活動 ○ 権現山登山（戦前からの伝統・ふるさとを見渡す・お年寄りから1年生まで総勢74名でのPTA登山） ○ 和太鼓学習（寄贈された和太鼓・心を合わせて打つ） ○ 全校ウォークラリー（地域に育つ自分や季節を感じる） ○ 全校縦割り班による活動（なかよしの輪の広がり） ○ 広大な学校農園（種まき～収穫・加工・食農体験） ○ 体力づくり（校内マラソン大会・全校体育・コオトシ） ○ 手作りスケート場（1・2年生のスケート学習実施） ○ 同窓会活動（そばの種まき・そば打ち・二分の一成入式） ○ 「はらぺこ本 本」による読み聞かせ（ボランティア） ○ 「地域のひと・もの・ことに学ぶ」活動 地域人材のクラブ支援、学習支援、総合生活科支援 伊那西高生によるクラブ支援 ミヤマシジミを守ろう
◆ 学校経営の重点 「やってみよう」 ○ 学校経営方針 ◇子どもが安心して生活できる学級経営への取組 ◇大切な資源である地域との連携（地域とともに） ◇その人の良さを認め、尊重する子どもを育てる ◇ICTも利用して情報を活用する力を伸ばす	
◆ 教職員研修の重点 ○ 深い教材研修と授業改善 ○ 個人課題に寄せた一人一公開授業 ○ 地域に寄せた研修（地域・学区巡り、地域の方の講演会） ○ 児童理解を深め、学力向上のための職員研修の充実	
西春近南小学校 所在地 長野県伊那市西春近7370 Tel 番号 (0265) 72-3234 E-mail minami-s@ina-ngn.ed.jp 児童生徒数 124 名 (R6.5.1 現在)	◆ 学校研究テーマ 子どもたちが自ら学びに向かうための授業づくり
◆ 学校教育目標 校訓 『恕』 『恕』の心をもって 自己の生き方を拓く子どもの育成	◆ 特色ある活動 ○ 朝の活動「グリーンタイム」栽培活動、食育促進 ○ 〃 「チャレンジタイム」個々の探究的な学び推進 ○ 南風っ子班（縦割り）での清掃・読書・集会活動 ○ 南風っ子祭り（児童会主催児童主体のお祭り）11 月 ○ 保護者、地域の方々との交流作業・交流会や間伐体験 ○ 地域の方を講師に招いてのクラブ活動 ○ 地域の方によるボランティア活動（読み聞かせ「いろはのき」、MIM の学習支援、アンネのバラ手入れ、清掃支援など） ○ 保育園との交流（音楽会で1年生と年長さんが一緒に発表、学年行事での共同作業など） ○ ユカイナへの取組（1年生が作成、音楽集会音楽会での演奏、ふくじゅ園での演奏） 「保育園の年長さんと一緒に田植え（5年生）」
◆ 学校経営の重点 ○ 主体的、対話的で深い学びにつながる授業改善 ○ 自他のよさや多様性を認め、安心して自己表現できる、学校学級づくり ○ 地域に親しみ、地域に関心を寄せる、地域学習の推進	
◆ 教職員研修の重点 1 学習指導の充実（授業づくりに向けた研究・研修） 2 学力向上・学級づくり（研究と研修） 3 保小接続・連携（実践の蓄積） 4 ICT教育の充実（実践と研修） 5 非違行為防止研修（研修） 6 特別支援教育（研修）	

高 遠 小 学 校 所在地 伊那市高遠町西高遠465 Tel番号 0265-94-2070 http://www.ina-ngn.ed.jp/~takatoo/ 児童生徒数 178名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ 「高遠に学ぶ 地域とともに学ぶ学習 深い学びを支えるための基礎基本の追究」
◆学校教育目標 「清らかで 美しく やさしく たくましい 高遠の子ども」	◆ 特色ある活動 【読み書きの力を伸ばす】〈知〉 ○読み書きの力を伸ばす学習指導・支援 (MIM) ○関わりや体験を大切に授業づくり、ペア・少人数学習 ○生きる力をはぐくむ実践的学習の充実 (高遠を材とした学習、ICT を活用した学習) ○自学塾 ○毎日の10分間読書「進徳タイム」 【相手の気持ちを考えて動く】〈徳〉 ○「相手を意識したあいさつ」への取り組み ○本気の「清掃」 縦割り班で活動 ○異年齢集団活動 ―なかよし班・なかよし集会等― 【自分の健康は自分で守る】〈体〉 ○朝マラソン・マラソン大会 ○全校体育 ○陸上クラブ ○OSOS の出し方教育 ○「お弁当の日」の取り組み 【家庭・地域と共に育つ学校】 ○地域に根ざした生活科・総合的な学習の時間 (孤軍高遠城舞踊への取り組み他) ○地域・年齢によるクラブ活動 ○特設クラブ(高遠囃子クラブ) ○地域の大人に学ぶ 地区行事への参加(伊澤修二記念音楽祭)
◆学校経営の重点 「笑顔と意欲あふれる授業の創造」 「知」学びづくり 自ら学びに向かう力の育成 ①基礎基本・読解力の育成 ②授業づくりは学級づくり ③生きる力を育む総合的な学習 「徳」心づくり 相手の気持ちを考えて動く ①「安心・安全」な心の教育 ②人間関係力の育成 ③感謝の心・豊かな心の醸成 「体」体づくり 自分の健康は自分で守る ①自分の心と体を見つめる ②体力向上 ③食育 ◆教職員研修の重点 ① 日々の授業改善 ② 児童が基礎基本の力をつけるための授業改善研究 ③ 地域を学ぶ研修・地域学習を進めるための授業改善研究 ④ 人権教育・児童理解・学級づくりのための研修 ⑤ ICT 活用研修	◆学校研究テーマ 自分の考えを持ち、主体的に関わって高め合い、「もっとやりたい」という意欲を持てる授業のあり方 ～さあ、みんなで自由進歩学習を始めよう～
高 遠 北 小 学 校 所在地 伊那市高遠町長藤4410番地 Tel番号 0265-96-2220 http://www.ina-ngn.ed.jp/~takakita/ 児童生徒数 54名 (R6.5.1 現在)	
◆学校教育目標 なかよし学校 がんばり学校	◆特色ある活動 ○縦割り班の活動 ・集団登下校 ・自然で学ぶ日・花壇づくり ・みやのはら祭り (児童会) ○交流活動 ・異学年、姉妹学年交流 ・保育園児との交流 ・他校交流高遠小・三宅小・花育生産農家との交流 ○地域見学(地域の方に講師になっていただいて) ○地域を学ぶ日 (地域の方主体で企画・実施) ○伊澤修二記念音楽祭への参加 (池上秀敏模写) (伊澤修二記念音楽祭) ☆小規模特認校として、表現力を高める様々な学びの場面を大切にしています。
◆学校経営の重点 1 なかよしの輪を広げます 2 学び合い、発言力と表現力を高めます 3 心と体を鍛えます	
◆教職員研修の重点 ・授業改善へ向けての授業研究 ・ICTの有効利用についての研修 ・人権教育・児童理解にかかわる研修 ・特別支援教育にかかわる研修 ・地域のフィールドワーク ・教職員としてのあり方にかかわる研修 ・非違行為防止研修	

長 谷 小 学 校 所在地 伊那市長谷溝口915番地 Tel番号 0265-98-2220 http://www.ina-ngn.ed.jp/~ 児童生徒数 58名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ 自ら考え、取り組み、かかわる子ども
◆学校教育目標 輝け長谷っ子 とともに学び とともに育つ 目指す子ども像 ふるさと長谷を愛し、自分で考え、 自分から取り組む長谷の子ども	◆特色ある活動 ◇姿勢の時間（全校毎朝実施） ◇よもぎ採り（高齢者クラブの方との交流） ◇孝行猿集会 ・長谷に伝わる民話「孝行猿」の劇を3年生が毎年発表。 ・中尾座で公演する年もある。 ・R6は、「伊那谷あんぜんフェスタ」でも発表。 ◇長谷っ子クラブ（地域の方から学ぶクラブ） ◇長衛祭参加（竹澤長衛を偲ぶとともに登山シーズンの安全祈願。林道崩落以前は南アルプス市立芦安小学校との交流） ◇幼宅老所みなみとの交流 ◇スマイルタイム（縦割りなかよしグループ） ◇安心安全見守り隊との対面式・感謝の会 ◇小中連携活動 ・小中兼務職員による授業等（音楽、外国語、家庭科、図書館司書、相談員、ALT） ・合同音楽会、合同読み聞かせ会、合同防災引き渡し訓練、合同学校保健委員会 ・合同職員研修（常福寺、ラー油作り、QU、授業づくり等） ・中学校くろゆり祭、フラワーコンサート参加
◆学校経営の重点 ◇「輝く 長谷っ子」 自己肯定感・自己有用感を育む子 ◇「ともに学ぶ」 自ら考え、取り組み、かかわる子ども＜全校研究テーマ＞ ◇「ともに育つ」 ふるさと長谷に誇りと愛着を持つ子ども	
◆教職員研修の重点 ◇特別支援教育についての理解を深める研修 ◇授業改善に向けての研修 ◇自己理解(QU)、自己肯定感を高める言葉かけ、学級づくりに ついての研修	

伊 那 中 学 校 所在地 伊那市荒井4460 Tel.番号 0265-72-6168 http://www.ina-ngn.ed.jp/~inatyu/ 児童生徒数 349名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ 子どもたちはどう学ぶのか ～マイチャレンジと教科学習の往還～
◆学校教育目標 「志を持って 勉強せよ 親切に」 ・どの生徒にも居場所があり、可能性の芽を伸ばす学校 ・生徒と教師が学び合い、高め合う喜びを実感する学校 ・思考し、自立した学びや生活が営まれる学校 ・地域を愛し、保護者・地域から信頼される学校	◆特色ある活動 ○地域のことを、地域の人と、地域のやり方で学ぶ 「ふるさと伊那谷学」の推進 ・連続5日間の職業体験学習 事業所や保護者などをお招きし、感謝とともに上伊那で働くことや将来の夢について語り合う機会 ・「道草の日」の実践から生まれるふるさとへの思い ・高校生や大学生、地域の講師から学ぶ「マインクエスト」の実施
◆学校経営の重点 ・「授業が学校づくりの根幹」を合い言葉に、生徒が主体的に学ぶ授業を通して、思考力・判断力・表現力を高め、自立した生徒をめざす。 ・生徒自身による学びを自己設計する力の育成「マネジメントタイム」の実施	○探究学習「マイチャレンジ」を通して、生徒の興味関心を基に、自己課題の解決を図る学習の実践 ○学校や大人が決めた「枠」ととらわれない、生徒による学校生活づくり ○保小中の連携による教育実践の発表「伊那中公開」 【マイチャレンジが並ぶ「探究コーナー」と「発表会」の様子】
◆教職員研修の重点 ①職員自らが提案する、創造的「提案型研修」 ②学びの改革を実現する「評価研究」 ③子どもから「問い」や「探究」が生まれる授業	
東 部 中 学 校 所在地 伊那市日影5749 番地 Tel.番号 0265-72-6128 http://www.ina-ngn.ed.jp/~suzutake/ 児童生徒数 667名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ 「学び合いのある学習」 ～一人一人が生きる授業の創造～
◆学校教育目標 (1) 真剣にねばり強く学習する生徒 (2) 広く豊かな心を持つ生徒 (3) 勤労を尊び、仕事に打ち込む生徒	◆特色ある活動 (1) 伝統を受け継ぎ、成就感を味わわせる学校行事 ・すす竹祭(文化祭) ・合唱発表会 ・体育祭 (2) 学力向上の取組
◆学校経営の重点 『東部中Pride』 「東部中のもつ活気と躍動感」をつなげる心意気。 「東部らしさ・東部中として」誇れる思い。 自主・自立 「自分で考え」「自分が決め」「自ら動く」 ・あらゆる場面で自分が決める機会を ・授業で育てたい主体性・自主・自立の力 多様な学び～自己理解から～ 「違ってからこそ学び合う」 「違いを認め合う広さ深さ」 ・「独りになる」ことと「誰も一人にしない」こと ・授業で一人一人の学びを保証	・外部機関と連携した「自分学」の実施 ・目的あるグループ活動の推進。対話的に学ぶ場面を設定 ・「振り返りカード」で一時間の学びを確認 ・電子黒板、iPadなどの視聴覚機器やデジタル教科書、AIドリル、視覚教材を活用 ・ひたすらタイム ・自学ノートで主体的に学ぶ力を育成 ・放課後学習支援(学力向上支援員による補充学習) (3) 生徒会活動 ・地域感謝交流会：祖父母に感謝する会の意義を継承しつつ、地域の方への感謝に広げて開催 ・さくらプロジェクトの推進：仙台市立高砂中学校との交流活動 全校集会でプロジェクトの意義を再確認し、オンライン交流で実施。 ・学習委員会：自らが選択し、行動する朝タイムの実施と「学びの足跡」の掲示 (4) 食育 ・地域の特色ある食文化調べや講演会の実施、地元農家の協力による食育体験学習 ・お弁当チャレンジウィークの実施
◆教職員研修の重点 (1) 授業力向上研修 ・教科横断的なメンバーによるグループ研修(OJT) ・指導主事を招き公開授業による授業研修 ・外部機関と連携したアセスメントに沿った授業改善の取り組み (2) 修養研修 ・非違行為防止研修	

西 箕 輪 中 学 校 所在地 伊那市西箕輪 6569-1 Tel番号 0265-72-6421 http://www.ina-ngn.ed.jp/~momiji/ 児童生徒数 177名 (R6.5.1 現在)	◆ 学校研究テーマ 主体的に追究できる生徒の育成 ～「学び合い」を軸にした授業実践を通して～ 重点① 「学び合い」の質を高める授業実践 重点② 個別最適な家庭学習 重点③ インクルーシブ
◆ 学校教育目標 『剛健質実』 〇こつこつ勉強しよう 〇よい友だちをつくろう 〇厳しく鍛えよう	◆ 特色ある活動 ①「西箕輪中学校人権宣言」を基盤とした生徒会活動 ・縦割り討論会 ・縦割りの清掃 等 ②地域との交流活動 ・福祉施設、保育園、伊那養護学校 等 ・「スマイル花壇」の整備 ③地域学習（クラス総合） ・「地域のためにできること」等 ④親子の手紙 ⑤暮らしの中の食「手作り弁当の日」 ⑥地域行事への参加「西箕輪高原マラソン大会」 等
◆ 学校経営の重点 理解・支援・応援！ ～一人になれる・ならない・しない生徒の姿を目指して～ 〇「指導の前に理解」を基盤とした生徒理解 〇「主役」である生徒が主体性を発揮するための支援・応援 〇家庭との信頼関係の構築、地域での学習展開、小学校との連携	【縦割りの討論会】 【スマイル花壇整備】
◆ 教職員研修の重点 教職員研修システムの充実 ①重点ごとに分かれた研究グループによる研修会の実施 ②自己省察を大事にした授業づくり ③ICT研修の実施 ④家庭学習のあり方研修 ⑤生徒理解研修	
春 富 中 学 校 所在地 長野県伊那市東春近 2408 番地 Tel番号 0265-72-5245 http://www.ina-ngn.ed.jp/~yabane 児童生徒数 366名 (R6.5.1 現在)	◆ 学校研究テーマ 友と関わり合いながら楽しく深く追究する授業の創造 ～ 学び続ける生徒と教師 ～
◆ 学校教育目標 理想を目指し、たくましく実践する人になろう	◆ 特色ある活動 〇生徒会活動における信用販売（無人販売）の実施〇あいさつと歌声の響く学舎づくり 〇生徒会が中心となった学校生活の向上 令和6年度生徒会スローガン「愛の川（あまのかわ）」 〇自転車通学と交通安全指導 生徒会による自転車通学安全指導、自転車安全点検等 〇「春富の心」を大切にした特色ある実践活動 ・地区生徒会活動における地区奉仕活動 ・命の尊さを考える「命の日」、「命の日講演会」 ・地域に感謝する会 OPTA いふきの会主催「セタコンサート」 〇地域ボランティアによる学習支援および読み聞かせ
◆ 学校経営の重点 三つの矢羽根 〇矢羽根1「授業を学校づくりの根幹に考える」対話的活動を中心にして、学び合いの中から自他と向き合い、わかった、できた喜びの持てる授業 〇矢羽根2 「インクルーシブな教育環境づくり」すべての生徒が安心して生活できる環境を目指して 〇矢羽根3「カリキュラムをデザインする」 地域や社会との連携や協働の実現、ICT のDX化に向けて	
◆ 教職員研修の重点 ①「UD化」「協働」「ICT活用」を軸にした授業改善 ②春富地区小中合同研修会の実施 ③教育公務員としての資質の向上（非違行為防止 他） ④Q-Uを活用した生徒理解研修	

高 遠 中 学 校 所在地 伊那市高遠町東高遠232番地 Tel番号 0265-94-2142 FAX 0265-94-4765 http://www.ina-ngn.ed.jp/~takatyu/ 児童生徒数 114名 (R6.5.1 現在)	◆学校研究テーマ 全ての生徒が生き生きと学び、 力を伸ばす高遠中を目指して ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～
◆学校教育目標 『学則得』 実生活 人間形成に生きる学び 『仰之愈高望之愈遠』 学び続け、求め続ける姿勢	◆特色ある活動 ○観桜期おもてなしボランティア活動の継承と創造 校庭駐車場受付、案内・桜茶の提供・売店運営等 ○伊澤修二記念音楽祭への参加参画 ○高遠高生による学習支援、交流学习、協働活動 ○地域・離市から学ぶ写生会、親子ふれあい講座、職場体験学習（2年）等、キャリア教育の充実 ○学校林を守り生かす森林学習（1年） ○実体験を通じた食と農の学びの充実 ○宿泊体験学習（1年） 仙丈ヶ岳登山（2年） 京都奈良への修学旅行（3年） （4月：観桜期おもてなしボランティア活動）
◆学校経営の重点 “A I を超えていこう！” 『自立・自律・JIRITSU した学び手に！』 「求めて学び、自ら立つ生徒」 （主体的な学び手、自立・自律した学び手へ） 「互いを認め合い、学び合う生徒」 （個別最適な学びと協働的な学びを通して高め 深め合う） ◆教職員研修の重点 ○ICTや「探究的な学び」、「特別支援教育の視点からの授業づくり」などの喫緊の課題について研修の推進 ○教育カウンセリング・教育コーチングの理論や方法を学び合い、予防的・開発的な生徒指導の推進 ○教育公務員としての資質向上の推進（非違行為防止研修他）	◆学校研究テーマ 『問いの解決に向けて主体的に追究する生徒の姿をめざして』 ～生徒一人一人が学び続け、 追究する喜びや幸せを実感する授業のあり方～
長 谷 中 学 校 所在地 伊那市長谷溝口1080 Tel番号 0265-98-2050 http://www.ina-ngn.ed.jp/~hasechu/ 児童生徒数 31名 (R6.5.1 現在) ◆学校教育目標 学是「不撓不屈」 心豊かに たくましく 創造力溢れる生徒 ◆学校経営の重点 生徒自身とふるさと長谷のウェルビーイングを 目指し、エージェンシーを育む学校 （エージェンシー：「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」） ◆教職員研修の重点 ① 小中連携による研修（合同研修会・相互授業参観） 地域の方を講師に招いた研修会の実施 ② ICT研修 ③ 授業改善の取組 一人一公開授業の実施、授業研究会の充実 ④ ウェルビーイング研修（非違行為防止資質向上研修）	◆ 特色ある活動 ○ 環境教育 全校での花壇づくり「ハンジー長谷全戸配付」 ○ 交流教育 伊那養護学校との交流学习（昭和62年より継続） ○ 福祉教育 老人福祉施設「サンハート美和」ふれあい訪問 ○ 地域芸能文化の伝承 「南アルプス太鼓」の地域各所での演奏 「ざんざ節」、「中尾歌舞伎」公演の支援活動 ○ 地域学習 中学生ができる地域おこし 「八房とうがらし」等のラー油原材料の栽培 ラー油「長谷の太陽」シリーズの開発・販売 「長谷の縁側」「出張長谷の縁側」地域の方と交流 「くろゆり祭」の地域合同開催 etc ○ 食農教育 ランチルームでの全校給食・栽培野菜給食利用 伊那市「暮らしの中の食」の推進 ○ 保小中連携「保小中 合同引き渡し訓練」「小中合同音楽会」 ←6月出張長谷の縁側 9月 大根の種まき→